

3Dデータを活用したペDESTリアンデッキ補修工事の安全計画

要旨

供用開始から40年以上が経過した仙台駅西口ペDESTリアンデッキは、経年劣化や震災の影響により漏水に伴う主桁腐食が各所で確認されている。当該ペDESTリアンデッキを含め、都市中心部における橋梁上部工の補修は、第三者災害の防止と施工性の確保を両立することが求められる。

本稿では、都市部における補修工事の安全性と作業性の両立を目的とし、3Dデータを活用し空頭条件の確認および作業動線の見直しを行った事例について報告する。

